

東海カード会員だより

2021年1月20日発行

東海大学新聞掲載記事 (2020.12.1号)

松前理事長が学園の歴史と未来を語る

【学校法人東海大学】

『建学七十八周年に寄せて』を発行

学校法人東海大学がこのほど、松前義昭理事長による冊子『建学七十八周年に寄せて』を発行した。学園では毎年、建学記念日にあたる11月1日に建学記念式典を挙げてきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となった。冊子は学園の歴史を振り返るとともに、学園にとって「変えてはならないものと変えなければならないもの」を見つめ直し、建学100周年に向けたメッセージを発信することを目的に制作された。

2013年度に行われた学校法人東海大学新任教職員研修での松前達郎総長による講話をもとに作成された『東海大学建学の思想とその源泉』とともに、学園の教育研究機関や一部関係者に配布されている。

冊子では、松前義昭理事長が所感として新型コロナへの学園の対応を伝えるとともに、学園の歴史づくりに協力してきた関係者への感謝を表明。続けて、学園の創立者・松前重義博士による建学30周年記念式典の式辞と松前達郎総長による建学50周年記念式典の式辞、17年の建学75周年記念式典で自らが述べた開式の辞を引用し、学園に受け継がれる理念と使命について語った。

さらに、75周年を機に策定された建学100周年に向けた羅針盤ともいえる学園マスタープランにおける取り組みも紹介。最後に、「『Think Ahead, Act for Humanity』のメッセージを胸に、建学の理想に向かってさらに航海を続けてまいりたいと思います」とまとめている。

問い合わせは、学校法人東海大学理事長室広報課03-3467-2211代まで。

【農学部】臨空校舎で新しい学び

ヒマワリの種を収穫

学部生が新しい学びのフィールドで実習に精を出す—2023年度開設が予定されている熊本県・臨空校舎の圃場で11月11日、農学部生と教職員約35人がヒマワリの種を収穫した。

「現場で学びたい」という学生の声を受けて13年度から行われている「アグリ実学スキルアップ支援プログラム」(通称・アグラップ)の一環。学生と教職員らが一体となって新しい学び舎を構築しようと、7月に「農ある仲間、土ほぐす福幸プロジェクト～みんなで創る学びのフィールド～」と題して植えたヒマワリは、9月末に約3000本が見ごろを迎えた。

今回は、初めに本田憲昭技術職員が、これまで圃場で4品種を育ててきたことに触れ、「23年の開設までさまざまな作物を植えて、学生が楽しく学べる実習を展開していきたいと考えています。今日はただ収穫するだけでなく、しっかり観察してください」と呼びかけた。

続いて中野祐志技術職員が収穫の流れや作業について説明し、学生と教職員が種付きの花をハサミで切って収穫した。高岸郁佳さん(4年)は、「ヒマワリの種を収穫するのは初めての経験。私たちが花だと認識している部分は“小さな花”の集合体だと知りました」と笑顔を見せた。

学生たちは茎も刈り取り、サツマイモなどと混ぜて阿蘇実習フィールドの家畜に与える飼料にするための粉碎作業も体験。「応用動物科学科所属なので、ヒマワリの茎が飼料になると聞いて新しい学びになりました。アグラップは植物にも触れられる貴重な機会。より深く農学を勉強したい」と作本碧さん(同)は語る。

収穫した種は一定期間乾燥させ、花から外して選別した後、食用油として精製する予定。赤木舞子さん(同)は、「自分たちは臨空校舎で学べなくて残念ですが、今日はとても楽しかった。卒業しても気軽に立ち寄れる、学科の枠をこえて横のつながりの強いにぎやかなキャンパスになってほしい」と期待を込めていた。

(裏面へ続く)

津軽鉄道の取り組みを調査

距離をこえた企業支援

森田浩一さん(観光学部4年)

関東の鉄道会社に勤め、現在は社会人学生として観光学部で学ぶ森田浩一さん(4年)。「コロナ禍で観光・鉄道業界が影響を受けている中、関連したテーマで卒業論文を作成したい」と考えていた今夏、青森県・津軽鉄道による「仮想乗車」の取り組みを知った。

新型コロナウイルス感染症の拡大により乗客数が減少したことを受け、津軽鉄道では4月28日から、乗車した気分が味わえる動画をYouTubeにアップ。閲覧者に運賃分の寄付を募り、約4カ月で約250万円の寄付金が集まった。

大学入学前は新潟県の観光列車で車掌を務めていたことから興味を持ち、企業担当者に連絡をとり寄付者を対象としたアンケートを実施した。21件の有効回答があり、住んでいる地域や寄付金額、寄付の理由や仮想乗車の企画に対する反応などを考察。その成果をまとめ、10月23日に同社の澤田長二郎社長に報告した。

今回の回答者は7割が地元住民ではなく首都圏在住で、実際に乗車するのは帰省や旅行で年1、2回程度という意見が多かった。“少しでも役に立ちたかった”“地元の利用者のために協力したい”といった声が聞かれたことで、「仮想乗車は鉄道会社が利益を生み出す一つの新しい手法であり、地域と地域外の関係性を維持する可能性の一つになり得ると感じた」と話す。

卒業後は元の職場に戻る森田さん。「今まで鉄道一本だったけれど、大学では観光学や経済学、心理学など多様な視点を持つ大切さを学びました。観光列車の車掌としてはもちろん、若手社員を育成する立場としても、大学での経験を生かしていきたい」と意気込んでいる。

東海カード提携協力店募集のお知らせ

東海カードでご利用頂ける独自の協力店は、会員の皆様のご協力により全国の店舗・施設でご利用いただけます。

東海カードをより価値あるものにするために、引き続き皆様に協力店の募集をお願いしております。詳細は同窓会事務局までご連絡をお願いします。

東海大学ネットをご活用ください

・MicrosoftOffice365 システムによる生涯メールアドレスの利用
(tokai-u.jp のドメイン) 詳細は以下 URL をご覧ください。
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net.html>

インターネットホームページについて

URL : <http://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

校友会・後援会・同窓会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお問い合わせいたします。

東海大学校友会(校友会・白鷗会・同窓会)事務局

学校法人東海大学理事長室学園校友課

〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-28-4 TEL 03-3467-2211 (代表)

E-mail koyukai@tokai.ac.jp

東海大学事務部事務課(後援会担当)

〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211 (代表)

E-Mail koyu@tsc.u-tokai.ac.jp